



## 活断層による地震ハザードの抽出に関する研究

総合理工学部 准教授 向吉 秀樹

日本列島には確認されている活断層が約2000あると言われていたますが、実際にはより多くの活断層があると指摘されています。活断層は主に地形判読によって特定されますが、地形判読のみでは特定しづらく、地震ハザードとして評価されていない活断層もあります。山陰地方は、日本列島の中でも活断層が地形的に特定しづらい地域とされています。実際に、2000年鳥取県西部地震（M7.3）や2016年鳥取県中部地震（M6.6）など、活断層が確認されていない場所で中規模～大規模の地震が複数発生しています。当研究室では、地質学的な手法により、いまだに確認されていない活断層を特定するための研究を行っています。そして実際の調査によって、より正確な地震リスク評価のための地震ハザード抽出を行っています。

